

考査受験についての生徒心得

- 1 出席番号順に着席する。
- 2 机の上には鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみを置く。
※筆箱・下敷き・シャーペンの芯ケースは認めない。
※ティッシュが必要な場合は袋や箱から出して置く。
※時計は、時計機能のみのものは使用可。
- 3 教科書・ノート等及び私物はすべて鞆に入れ、机の中には何も入れておかない。終了した考査問題も不可。
- 4 携帯電話等の電源は切って、鞆の中にしまう。
- 5 鞆はロッカーの中にしまう。ただし、必要に応じて、貴重品の管理を徹底し、廊下に整然と置く。
- 6 膝かけは、膝の上にかけない。イスの上に敷く。
- 7 考査時間中に物品の貸し借りをしてはならない。
- 8 監督の指示に従うこと。
- 9 不正行為や疑われるような言動をしてはならない。
- 10 不正行為を行った場合には、当該科目を0点とし、直ちに厳しい指導を行う。

【違反した場合】

- ①定期考査の最中、携帯電話を操作した生徒はカンニングに類する行為として特別指導の対象となる。
- ②身に着けていた生徒や電源を切らなかった生徒については、学年主任または生徒指導主事より注意がある。